

地域課題に応じた新たなサービスの構築が可能

データ利活用基盤サービス(FIWARE)



IoTプラットフォーム「FIWARE」を活用し、様々な分野を横断してデータ利活用することができます。

データ利活用基盤サービス (FIWARE) の導入効果

効率化

防災・観光・防犯など様々な分野毎に蓄積したデータでも分野を横断して相互に活用できます。

基盤の確立

様々な分野で蓄積したデータを総合的に活用して地域課題に応じた新たなサービスの構築が可能になります。

コスト削減

標準データモデルを活用して、都市間でのソリューション再利用が可能になります。

導入事例

アプリ化

AEDの設置
個所を
チェック



医療廃棄物の収集



データ取得



防災データ
観光データ
河川の水位データ



データ利活用基盤サービス (FIWARE) の概要

- 欧州で実績のあるIoTプラットフォーム「FIWARE」を活用し、様々な分野を横断してデータ利活用することができます

分野を横断した データの蓄積

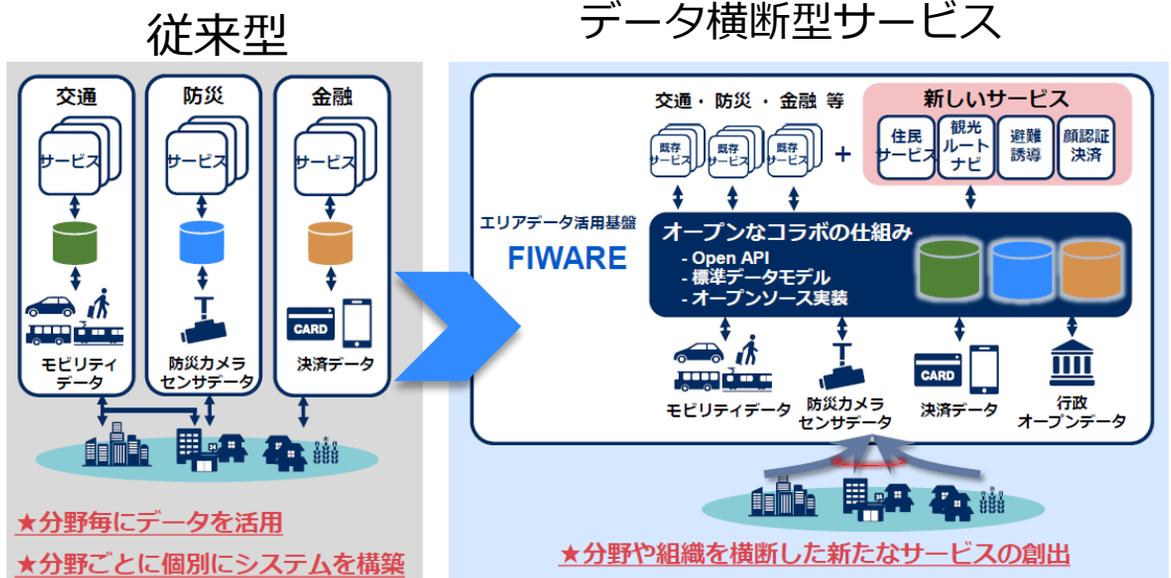
様々な分野（防災・観光・防犯・etc...）のデータ相互運用性を考慮したデータモデル

地域課題に応じた サービスの構築

プラットフォームに蓄積されたデータを利活用し、地域課題に応じた新たなサービスの構築

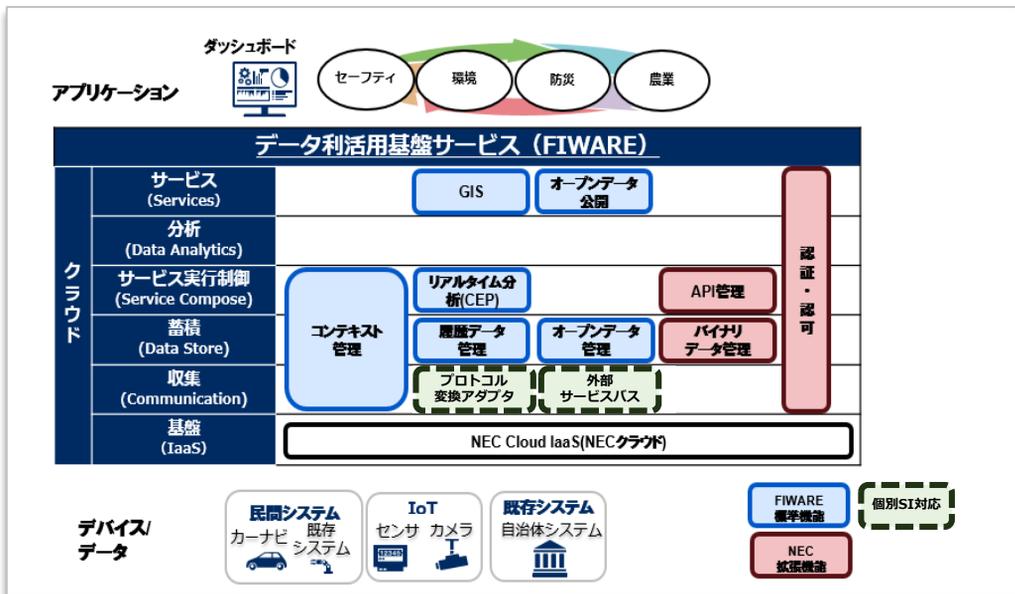


- 様々な分野で蓄積したデータを総合的に活用して地域課題に応じた新たなサービスの構築が可能になります。



ソリューション詳細

- EUが開発・実装し、欧州で実績あるIoTプラットフォーム「FIWARE」を活用した、産学官の多様な主体がデータ活用することができるプラットフォームです。



お問い合わせは、下記へ

NECソリューションイノベータ

デジタル基盤事業部

E-mail : fiware@nes.jp.nec.com

TEL:044-435-5646

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要の手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きに当たり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。●本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。●この文書の一部または全部を無断で使用、または複製することはできません。●この印刷物の内容は2020年6月現在のものです。内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。